

# 1. 今後活用可能な市のツールについて



## さっぽろ圏スマートアプリ

### 【概要】

情報発信を始め「ヘルスケア」や「ゴミ出しカレンダー」など、様々な機能を使用できるスマホアプリ。  
ダウンロード、利用登録をした方を対象としたアンケートが実施可能。  
※android・iPhone対応

### 【メリット】

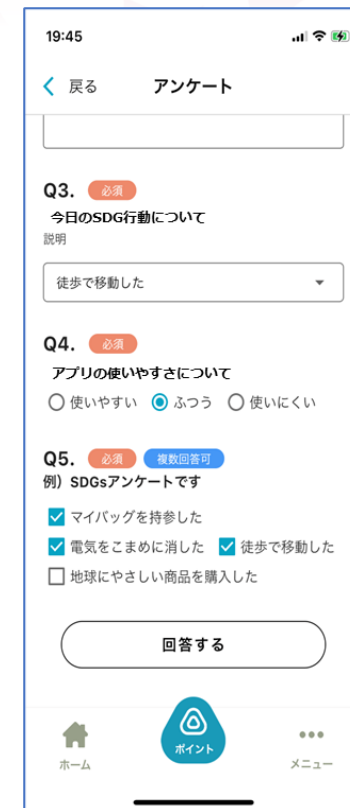
- ・モニター制度のように**一定の登録者を確保**しておくことができる。
- ・**登録者の生年月日、性別、郵便番号、都道府県等の情報取得**ができる。
- ・**ポイント付与**（※別途費用が必要）ができる。
- ・**メールアドレス、SMS、アプリページで情報発信**ができる。
- ・使用方法などについて**チャットで質問**ができる。
- ・新規開発の必要がない。

### 【デメリット】

- ・札幌市民に限定することはできない。
- ・アプリダウンロードの心理的ハードルがある（登録者数確保に課題）。
- ・アンケートの回答者が固定化される可能性がある。
- ・アンケートに特化したアプリではない。



アンケートが配信されている場合、こちらのアイコンから回答可能。



## 札幌市公式LINE + スマート申請

### 【概要】

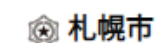
webのアンケートフォーム（下記スマート申請等で作成）を作成し、札幌市公式LINE等で情報発信を行うなどにより、アンケートが実施可能。

### 【メリット】

- ・**友達登録者数18.7万人に情報発信**ができる。
- ・**アプリダウンロードのハードルが低い**。
- ・既存ツールの組み合わせにより新規開発の必要がない（低廉）。  
※令和6年1月にこの方法で「まちづくり戦略ビジョンの基本目標について」のアンケートを実施している。
- ・別途費用はかかるが、LINEと連携する多くのシステム、アプリと連携する開発が可能（拡張性がある）。

### 【デメリット】

- ・札幌市民に限定することはできない（別途費用はかかるが、マイナンバーカードによる公的個人認証を使えば限定可能）。
- ・事前にユーザー情報を取得することはできない（アンケートで回答者の属性入力を求める必要がある）。
- ・継続的なアンケート、対象を絞ったアンケート等が難しい。



# 1. 今後活用可能な市のツールについて

## 市民アンケートシステムの改修等によるアンケートツールの開発

### 【システム改修の要件】

- ・住基データから対象者を抽出できること。
- ・抽出した対象者データから案内はがき等を作成できるようにすること。
- ・案内はがきにwebアンケートフォームのQRコードなどを印刷できること。
- ・アンケート項目は2~10、選択式がメインで自由記載欄を設けられること。
- ・回答者の消込ができること。
- ・セキュリティ対策に考慮すること。

### 【メリット】

- ・住民登録がある札幌市民に限定することができる。
- ・デジタル以外の回答にも対応が可能である。

### 【デメリット】

- ・改修費や運用保守費が高い（費用対効果の検証が必要）。

### 【改修の参考見積】

- ・初期費用：69,000千円
  - ・運用保守：450千円/月
- ※別途、はがきの印刷費、郵送費が必要。

